

「協働まちづくり推進プラン2021」策定の方向性(案)

協働まちづくり推進プラン2016の総括
(取り組み成果)

【分野1】

【分野2】

【分野3】

⇒別紙①

協働まちづくりをめぐる現状分析

(1) 東日本大震災復興期以降の
協働まちづくりの状況

(2) 協働に関する市民の意識

⇒別紙②

「協働まちづくり推進プラン2021」において重視すべき視点(案)

視点①

視点②

視点③

より多様な主体を巻き込む協働

地域に根差し、地域とともに歩む協働

時流を踏まえた新しい発想の協働

(考え方)

- ・市民活動のすそ野を広げ、さらに多くの市民の発想を引き出す取り組み
- ・協働まちづくりへの関わりを期待したい特定層(若者・企業等)への効果的なアプローチ

- ・担い手が不足する中、多様な主体がともに地域づくりに取り組む機運と仕組みづくり
- ・地域を支える区役所・市役所のさらなる機能強化
- ・地域団体等による地縁によるまちづくりとNPOによるテーマ型まちづくりの結びつきによる相乗効果の創出

- ・東日本大震災から10年、復興・被災者支援の経験を踏まえた協働の輪の展開
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による社会変容に対応する協働まちづくり
- ・SDGsを踏まえた、社会の共通目標としての「マルチステークホルダー・パートナーシップ」の実現

「協働まちづくり推進プラン2021」各分野の取り組みの方向性へ反映

分野1

市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項
(方向性)

分野2

政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項
(方向性)

分野3

多様な主体による活動の促進に関する事項
(方向性)